

令和元年度 相談支援部会 振り返り・評価シート

R2年 2月26日作成

【活動方針】

相談支援従事者が、個別相談支援から確認した地域課題を情報発信・共有し、地域課題の解決に向けた取り組みを検討する。

【取り組み内容】 ※具体的な活動内容及び結果を記載する

開催回数	8回	開催月	5、6、7、8、9、11、1、2月
------	----	-----	-------------------

・今年度の地域課題の抽出は、日々の個別相談支援を行う中で、地域状況の課題集約(確認)と、情報共有からスタートする方法をとった。課題集約とピックアップした地域課題の分析と整理に注力して時間をかけ、取り組むべき地域課題や、地域課題の分析を行ったうえで、必要な取り組みと効果的なアクションプランを作成し、実行した。

【メンバーの感想・意見（協議会活動を通じての振り返り）】

協議会での活動を通じての成果や気付き、今年度部会・ワーキングの取り組みに関すること、協議会の運営や体制に関する課題・意見等。

・年度内で地域課題の抽出から検証を行ったうえでアクションプランを作成し、情報交換会を開催する一連の流れができて良かった。
・事業所の対象が児童であったり、今回の地域課題になった精神の対象者がいないと、地域課題として捉えにくく、検討が難しいのではないかと感じた。その辺りの課題抽出や取り扱う内容については、共通認識が持てる方が良いのか検討が必要ではないか。
・スピード感を持って取り組み、1年間の見通しを持ちながら進められたのがよかった。一方で、初めて参加する相談員にとっては進みが早く、ついていけない面もあった。
・地域課題として取り上げた時は、方向性が見えずに難しい題材と感じたが、回を重ねて様々な視点で意見交換する中で、情報交換会という一つの形ができて良かった。
・初めての参加であり、なかなか意見が出せない部分もあったが、他の相談員の視点や意見が聞けて勉強になった。
・1年間を通して取り組むことで、課題を見失わずに進められてよかった。また、回を重ねることで少しずつ自立支援協議会のことや部会の在り方が実感を伴って理解できてきた。
・相談支援部会に何度か参加していると、流れと目的がつかめているが故に、振り返りや確認をせずに進めてしまうところがあり、スピード感についていけないといった人が出たように感じ反省している。

協議会の機能： 情報機能、調整機能、開発機能、教育機能、権利擁護機能、評価機能

【来年度の取り組みについて】

継続する場合（モニタリングも含む）	
活動方針（案）	相談支援従事者が、個別相談支援から確認した地域課題を情報発信・共有し、地域課題の解決に向けた取り組みを検討する。
取り組み内容	相談支援専門員の日々の業務の中から、地域課題を抽出して課題背景を探り、効果的な取り組みを行う(年度内)。
引き継ぎ事項等	1つのケースから地域課題を抽出する方法ではなく、個別相談支援を実施する中での地域課題の課題集約と情報共有からスタートする。課題集約とピックアップした地域課題の分析と整理に注力して時間をかけ、取り組むべき地域課題や地域課題の分析を行ったうえで、必要な取り組みと効果的なアクションプランの作成と実行までを年度内に行う。

終了する場合	
理由等	